耐用年数内判定資料
（日常生活用具費用）

氏　名	

用具名		※耐用年数 年	※ 前回購入日　　年　　月　　日

耐用年数内再購入を必要とする理由（次のうち該当する理由について、記入すること。）

１　修理不能により用具の使用が困難となった場合 修理不能であることがわかる資料を添付すること。	破損の状況（どこが破損したのか。など）
２　部品の交換より買替えの方が合理的又は効果的である場合 買替えが合理的又は効果的であることがわかる資料を添付すること。	合理的又は効果的である理由
３　操作機能の改善等を伴う新たな機器の方が使用効果が向上する場合 機器の改善を要する必要があると指摘されたことがわかる資料を添付すること。	使用効果の向上が見込まれる理由

※の部分は記入しないこと。

記入例

耐用年数内判定資料（日常生活用具費用）

氏　名	

用具名		耐用年数　年	※　前回購入　　年　　月　　日

耐用年数内再購入を必要とする理由（次のうち該当する理由について、記入すること。）

1　修理不能により用具の使用が困難となった場合 修理不能であることがわかる資料を添付すること。	破損の状況（どこが破損したのか。など） **（例）** **・〇〇が破損したのでメーカーに部品の取り寄せを依頼したが、最低保有期間を経過しており取り寄せができないと言われたため。** **・破損箇所の〇〇の程度が著しく、修理ができないため。　など** **（添付資料の例）** **・修理できない理由が記載されているメーカー等からの書類　など**
2　部品の交換より買替えの方が合理的又は効果的である場合 買替えが合理的又は効果的であることがわかる資料を添付すること。	合理的又は効果的である理由 **（例）** **・破損箇所〇〇の修理費が高く、購入したほうが安いため。　など** **（添付資料の例）** **・修理する場合の見積書と買替えの場合の見積書　など**
3　操作機能の改善等を伴う新たな機器の方が使用効果が向上する場合 環境や身体・障害の変化等の場合は具体的に記入すること。	使用効果の向上が見込まれる理由 **（例）** **・引越し先で現在の用具が〇〇により使用できないため、引越し先でも使用できる新たな機器を購入したほうが適切であると言われたため。** **・〇〇によって購入時とは障害程度が著しく変化し、〇〇〇の観点から機器の改善を要する必要があると医者(業者)に指摘されたため** **・〇〇によって購入時とは障害程度が著しく変化し、自分の身体状況と照らし合わせて、〇〇〇の観点から、新たな機器の方が適切であると業者（医者）に勧められたため。　など** **（添付資料の例）** **・機器の改善を要する必要があると指摘されたことが分かるもの（医師意見書や業者からの意見書等）　など**

※ 調 査 年 月 日	令和　　年　　月　　日	※ 担当者氏名	

※の部分は記入しないこと。